

分類	No	項目	算出方法	All-Fujifilm 2026年度 中期目標	2023年度 実績(数値)	2024年度 実績(数値)	2025年度 実績(数値)	2025年度重点施策 (2025年6月)	2025年度の重点施策の 振り返り	2026年度 計画(数値)	2026年度 重点課題	2026年度 重点施策
生活習慣病(肥満度)	1	BMI値 25以上(比率)	該当者(HDBダウンロード)÷各社対象受診者数	21%	25.2%	26.5%	25.6%	健康管理推進に当たって、タバコ・メンタルヘルス等、他の領域に割くりリソースが大きかったため、食事や運動施策等を検討導入し、改善を図る。	従業員の食事環境について福利厚生面、健康経営の観点から環境整備拡充を実施。 無人コンビニ導入に併せ一般的な商品と健康志向商品を従業員自らが選択できる環境づくりを実施。課題であった夜勤・遅番勤務者の食事環境改善に繋がりました。 2026年度には大分工場へも無人コンビニ導入を検討し、全拠点で食事提供環境改善を図る。 給茶機ではカロリー表示することで飲料選択を視覚的にサポートし、過剰摂取の抑止に寄与した。 新横浜本社では「アルコールとの付き合い方」セミナーを開催。適切な飲酒習慣を身につけ、健康リスクを減らし、安心して楽しめる知見を深めた。	24%	・生活習慣病予防における行動変容の定着とハイリスク者受診徹底の推進 →生活習慣病などの疾病の発生予防・重症化予防 生活習慣病(肥満度)BMI値は中期目標で毎年5名減らす。最終2029年度末までにKPI21%達成を目指す。	・栄養/お酒の飲み方+おつまみ、ロコモ対策等セミナー開催(外部機関活用) ・健せとの協働対応の強化 ・歩活イベントの継続推進(春/秋) ・生活習慣病対策とした運動と食生活セミナー開催 ・「要精査」「要受診」への受診勧奨 →健せが無い3拠点(大分・熊本・ケミセン)についても受診勧奨を見直し 健診結果の有所見者への事後措置について、産業医面談の実施、報告書の回収を開始
生活習慣病(糖尿病予備軍)	2	HbA1c 6.0以上(比率)	該当者(HDBダウンロード)÷各社対象受診者数	6%	6.3%	4.8%	4.9%			4.2%		
生活習慣病(糖尿病予備軍)	3	生活習慣病ハイリスク者の再検/精検受診率(40才以上)	再検/精検受診済人数÷HbA1c6.5以上の要治療該当者数(D判定～)	100%	85%	67%	88%			100%		
生活習慣病(糖尿病予備軍)	4	生活習慣病ハイリスク者で再検/精検受診済み人数(40才以上)	再検査、精密検査を勧奨だけでなく受診した人数	—	11	8	7			—		
生活習慣病(喫煙)	5	喫煙率	該当者(HDBダウンロード)÷各社対象受診者数 <計画>下記を目安に2026年度末に12%を達成するためには、2026年度末までにどこまでやるのか、さらに2026年度の達成目標を含め、1年間の目標(計画)を立案ください。 ・30%以上⇒目標20%台 ・29～20%⇒目標10%台 ・19～13%⇒目標12%以下 ・12%以下⇒可能な限りの改善	12%	15.62%	16.07%	10.96%	昨年度実施した禁煙セミナーの継続施策として、若年層向け(新たな喫煙者を増やさない)取り組みにも着手する。 また、保健師との1on1や禁煙補助薬の配布イベントなどを通じ、今まで以上に強力に推進を行う。	18～22歳の若年層を対象に喫煙の健康被害防止を目的とした禁煙セミナーを静岡・大分工場の15名に実施。加熱式たばこの影響や副流煙の害について知見を深め、本人や家族の健康意識向上に成功。 参加者のうち喫煙者3名中2名がその場で禁煙を開始。引き続き入社者に対し教育体制を整える。 加えてチャンピックスを活用した禁煙キャンペーンを積極的に行之い、禁煙成功に寄与。 昨年度実施の喫煙者対象向け禁煙セミナーの効果検証の結果、2026年喫煙率は10.95%に低下し、KPIの12%以下を大幅達成した。	9.9%	・潜在的禁煙関心層へのアプローチ強化と行動変容(ステージアップ)の支援 →All-Fujifilm目標喫煙率は達成しているが更に低減を目指し、一桁台の喫煙率である10%未満を目指す。	・過去の独自アンケートやタバコに関するアンケート結果を取り纏め、ターゲットを3グループに分類。 ・みんチャレ禁煙プログラムに参加 ・入社者への喫煙による健康被害防止を目的とした禁煙セミナーの開催
生活習慣病(喫煙)	7	管理職の喫煙率	喫煙管理職数(HDBダウンロード)÷各社受診対象管理職数	0%	11.6%	11.8%	6.0%			—		
生活習慣病(喫煙)	8	一般職の喫煙率		—	16.5%	16.9%	11.9%			—		
肺がん	9	胸部X線	該当者数÷各社受診対象者数	100%	100.0%	100.0%	100.0%			がん検診受診の啓発活動を引き続き推進する。		
胃がん	10	X線検査(バリウム)受診率	X線検査受診者数(HDBダウンロード)÷40歳以上受診対象従業員数	—	2.9%	1.2%	2.0%	—				
胃がん	11	内視鏡受診率	内視鏡検査受診者数(HDBダウンロード)÷40歳以上受診対象従業員数	90%+	78.6%	74.9%	81.4%	100%				
胃がん	12	胃部受診率(X線検査+内視鏡)	(X線検査受診者数+内視鏡検査受診者数)÷40歳以上受診対象従業員数	100%	81.4%	76.1%	83.3%	100%				
大腸がん	13	便潜血	受診者数(HDBダウンロード)÷40歳以上受診対象従業員数	100%	95.2%	85.2%	82.1%	100%				
乳がん	14	乳房	受診者数(HDBダウンロード)÷受診対象女性従業員数	90%+	62.7%	80.0%	83.0%	90%				
子宮頸がん	15	子宮	受診者数(HDBダウンロード)÷受診対象女性従業員数	90%+	62.7%	70.0%	67.1%	90%				
大腸がん	16	大腸がん検診(便潜血)陽性者の再検/精検受診率	再検/精検受診済人数÷便潜血陽性該当者数	100%	80.0%	83.3%	87.5%	100%				
大腸がん	17	大腸がん検診(便潜血)陽性者の再検/精検受診人数	再検/精検受診済人数	—	4	5	7	0				
大腸がん	18	大腸がん検診(便潜血)陽性者の大腸内視鏡による再検/精検受診率	大腸内視鏡による再検/精検受診済人数÷便潜血陽性該当者数	—	80.0%	33.3%	75.0%	-				
大腸がん	19	大腸がん検診(便潜血)陽性者の大腸内視鏡による再検/精検受診人数	大腸内視鏡による再検/精検受診済人数	—	4	2	6	0				
メンタル疾患	20	休業率(一週間以上積休/欠勤)	メンタル休業1週間以上(暦日(連続)7日以上、休暇・欠勤・休職問わず全ての休業を含む)の延べ人数÷4/1時点(期首)の従業員数	0.8%	1.3%	1.9%	1.6%	要点ポイント資料の作成、入社(異動)教育時のフォロー 役職者向け、復職に関するガイドライン説明会	産業医、保健師との連携を強化し、メンタル休業前のフォロー面談やバディ制度を用いてコミュニケーション向上を実施。	0.8%	・不調の予兆を捉える「早期認知・早期介入(職場/人事)」によるメンタルヘルス不調の未然防止 →メンタルヘルス不調等のストレス関連疾患の発生予防 ・入社後、勤務地異動のフォロー面談(人事・健せ) ・ストレスチェック実施、集団分析の活用 ・職場でメンタル懸念者を事前にくみ取る仕組みを構築する。 ・人事から上長にヒアリングを進め未然に把握する(アンケート)	
長時間労働	21	長時間労働人数(80H以上/月) (基準労働時間超過のべ数)	所定外労働が単月80H以上の延べ人数(管理職・裁量労働を含む全従業員)	0名	0	0	0		長時間労働人数(80H以上/月)は現時点で発生していない。	0	・時間外労働の段階的モニタリング(45h/60h)と職場協働による長時間労働の未然防止(継続)	・長時間労働者に対する産業医面談実施
長時間労働	22	80H未満/月で健康リスクがある従業員に対する未然防止策	自社の未然防止策をご記入ください 例:xか月残業xxx時間以上の従業員に対し疲労度アンケートを行い、面談希望者および疲労度総合判断(評価)6点以上に対し産業医面談を行う	—	—	—	—			—		
三位一体の取り組み	23	7つの健康行動の実践	・週1回以上、体重をはかっている ・自分の健診結果を確認している ・1日以上、お酒を飲まない日をつくっている ・1日時間以上の睡眠をとっている ・平均30分/日以上歩いている ・直近の歩活(あるかつ)にエントリーした ・タバコを吸っていない	90%+				【歩活】既に85%ほどの参加率があり、継続して啓蒙活動を行いつつ、ウォーキングイベントや景品配布など参加することに魅力を感じてもらえるような企画を立案実行。 【体重測定/6時間睡眠】7つの健康行動に関するアンケートを実施し、理解度の棚卸を行う。加えて左記行動についての啓蒙活動を行い、実施率を向上させる。	【歩活】FFEM独自チーム戦や個人賞を企画。特に運動習慣がない方の参加率を向上させるため、歩数増加者や初参加者への個人賞を設定。イベント期間中には従業員のウォーキングインタビューやFFG静岡地区グループ会社でのウォーキングイベントを参画。		・「習慣化(計測/結果確認)・ニーズ探索+対応(睡眠)・継続(歩活/禁煙)」の3軸で進める健康行動推進 →7つの健康行動での低ポイント項目への施策展開で実践率を向上させ従業員への健康に対する意識づけを継続させ、全体実施率を上げる。	【重点実施項目】・・・体重測定/週 ・全拠点更衣室への体重計設置 ・デジタルサイネージを活用した啓蒙活動(静岡に続いて新横浜・他拠点)
	24	労使での健康課題への取り組み		—				2025年春の歩活、秋の歩活イベントの盛り上げ(参加率アップへの働きかけ)、お昼のドリンク配布イベントを元気会と共同で実施。秋イベントも継続予定。			・既存健康施策の継続共催、更なる健康意識向上プロセスの模索	・歩活イベントの盛り上げ(参加率アップへの働きかけ) ・歩活応援企画としてドリンク配布イベントを社員会と共同実施。Kencomへのログイン呼びかけによる歩数連携。